

2019年7月18日
株式会社日立システムズ
AI inside 株式会社

RPA と AI-OCR 「DX Suite」 の連携により働き方改革を支援する「業務効率化支援サービス」を強化
紙帳票のデジタル化における手書き文字の認識率が向上

株式会社日立システムズ(代表取締役 取締役社長：北野 昌宏、本社：東京都品川区／以下、日立システムズ)と AI inside 株式会社(代表取締役社長 CEO：渡久地 拓、本社：東京都渋谷区／以下、AI inside)が連携し、日立システムズが提供している、RPA^{*1} で働き方改革を支援する「業務効率化支援サービス」のラインアップに市場シェア No. 1^{*2} の AI-OCR^{*3} のプラットフォーム「DX Suite」を追加し、7月18日から販売を開始します。これにより、紙帳票のデジタル化における手書き文字の認識率が飛躍的に向上し、さらなる生産性向上を実現します。

昨今、少子高齢化による労働力の減少に加え、本年4月1日からの「働き方改革関連法」施行により、企業や団体では業務の効率化や生産性の向上などに向けた取り組みが急務となっています。

このため、日立システムズは、本年4月から、業務の整理や可視化を分析ツールを用いて支援するとともに、その後の RPA や OCR を用いた業務の自動化、さらには BPO^{*4} サービスによる業務の効率化をトータルで支援する「業務効率化支援サービス」を提供しています。

今般、日立システムズと AI inside が販売パートナーシップ契約を締結することにより、「業務効率化支援サービス」のラインアップに AI inside の AI-OCR 「DX Suite」が加わります。これにより、「従来の OCR では帳票の手書き文字の読み取りが難しい」という課題を AI-OCR 「DX Suite」が解決します。

「DX Suite」は、手書きの文字に対し、特別な事前学習を必要とせず、従来型 OCR では困難だった文字と文字のつながり目や切れ目を AI (人工知能) で判別しデジタルデータ化が可能です。また、書式が異なる複数の帳票が混在している場合も、文字を読み取る際に書式の自動仕分けを行い、それぞれの帳票に合った読み取りを行います。さらに、クラウド型でのサービス提供により短期間での導入が可能です。

今後日立システムズは、紙帳票を各種システムに自動入力することで、単純作業の省力化を図り、働き方改革を推進したい企業や団体向けに本サービスを拡販し、2021年度末までに累計20億円の販売をめざします。

なお、AI inside は DX Suite の新たなラインアップとして、読み取りたい項目の位置を AI が自動で抽出することにより帳票ごとの初期設定が不要な「Multi Form」の提供を開始。さらに、新製品としてクラウド型ではなく各社専有の Edge AI^{*5} でプライベートな環境を提供する「AI inside Cube」の受付を開始しました。今後、日立システムズはこれらの取り扱いを検討していきます。

- *1 RPA(Robotic Process Automation) : ソフトウェアロボットを活用した業務の自動化手法
- *2 出典: 富士キメラ総研 2019年3月発行 「2019 人工知能ビジネス総調査」
- *3 OCR(Optical Character Recognition/Reader) : 手書きや印刷された文字を、スキャナやカメラによって読みとり、データと照らし合わせ文字を判断し、電子テキストに変換する技術や装置
AI-OCR(AI 技術を活用した OCR)
- *4 BPO(Business Process Outsourcing) : 業務の外部委託
- *5 AI の処理をクラウドではなく端末側 (エッジ) で実行する技術

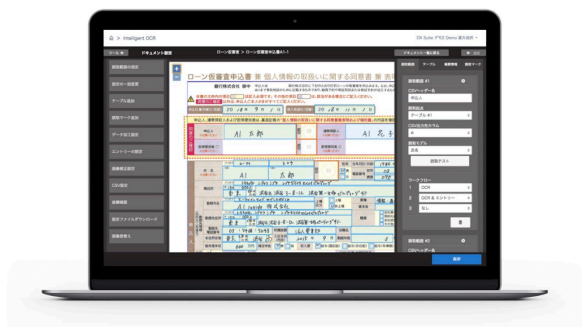
■「業務効率化支援サービス」のサービス概要図およびアプローチ



■「業務効率化支援サービス」のWeb サイト

<https://www.hitachi-systems.com/solution/s0309/koritsu/index.html>

■DX Suite サービス概要



Intelligent OCR

最高のAI-OCRを。

- 手書き文字を高精度でデジタルデータ化
- AUTO LEARNING機能により、使えば使うほど賢く



Elastic Sorter

ドキュメントの仕分けもAIで賢く。

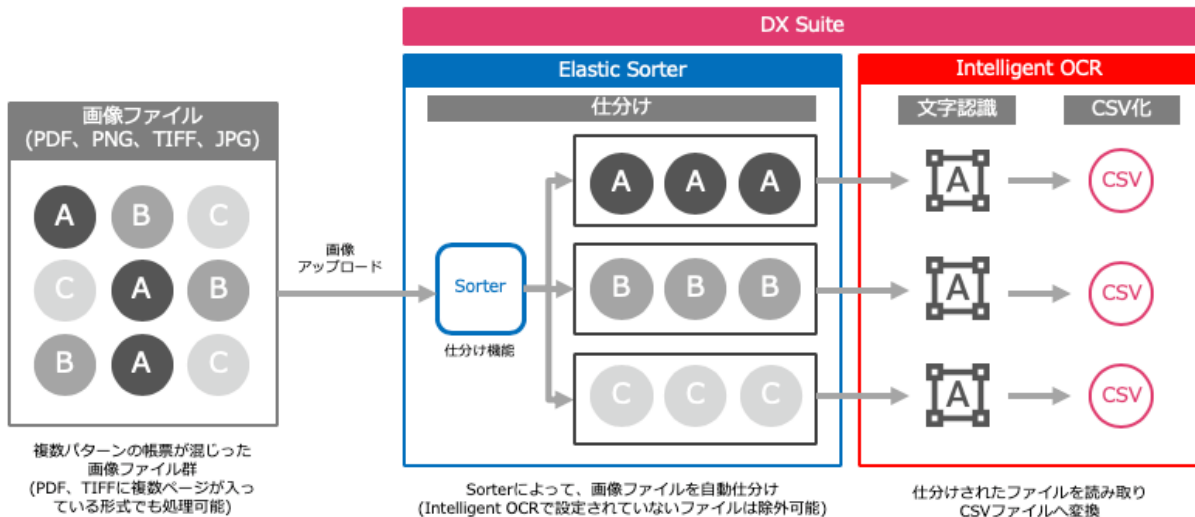
- データ化業務に求められる書類仕分けをAIで賢く実現
- Intelligent OCRやRPAとのシームレスな連携も可能



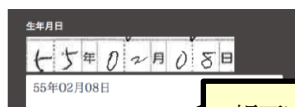
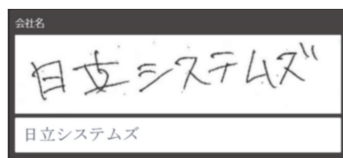
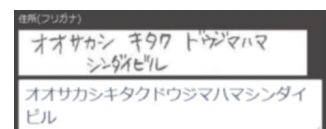
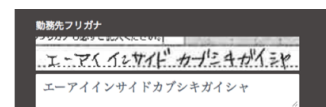
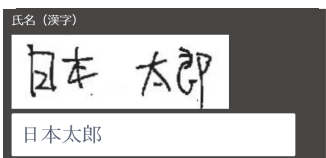
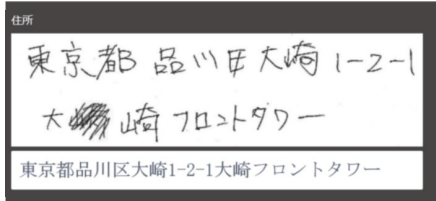
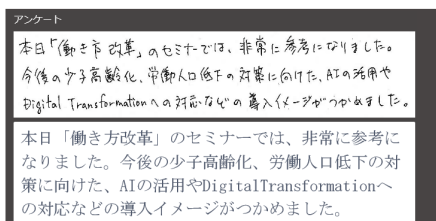
Multi Form

非定型帳票対応でOCRはネクストステージへ。

- 設定作業は不要、欲しい項目を選択するだけ
- フォーマットの違う帳票をまとめてOCR可能
- 請求書、領収書、レシート、住民票、給与支払報告書から



読み取り例



帳票に設定された
チェックボックス
も認識

■「DX Suite」の Web サイト

<https://www.hitachi-systems.com/solution/s0309/koritsu/dxsuite/index.html>

■日立システムズについて

株式会社日立システムズは、幅広い規模・業種システムの構築と、データセンター、ネットワークやセキュリティの運用・監視センター、コンタクトセンター、全国約300か所のサービス拠点などの多彩なサービスインフラを生かしたシステム運用・監視・保守が強みのITサービス企業です。多彩な「人財」と先進の情報技術を組み合わせた独自のサービスによってお客様のデジタルイノベーションに貢献し、新たな価値創造に共に取り組み、お客さまからすべてを任せいただけるグローバルサービスカンパニーをめざします。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/> をご覧ください。

■AI inside について

AI inside は、大手金融機関、不動産会社、広告制作会社や総合印刷会社等業種を問わない複数の企業に400社以上の導入実績を持つ、AI-OCR分野におけるリーディングカンパニーです。最先端のAI技術を活用したOCRソリューション「DX Suite」をはじめ、AI-OCR分野以外のAI領域でもサービス提供をしています。

詳細は <https://inside.ai/> をご覧ください。

■お客さまからのお問い合わせ先

株式会社日立システムズ

商品お問い合わせ窓口：TEL 0120-346-401 (受付時間：9時～17時／土・日・祝日は除く)

お問い合わせWebフォーム：<https://www.hitachi-systems.com/form/contactus.html>

■報道機関のお問い合わせ先

株式会社日立システムズ サステナビリティ・リスクマネジメント本部

コーポレート・コミュニケーション部 広報担当 城戸崎、藤原

〒141-8672 東京都品川区大崎一丁目2番1号

TEL：03-5435-5002(直通) E-mail：press.we@ml.hitachi-systems.com

AI inside 株式会社

広報担当 TEL：03-5468-5041

E-mail：pr@inside.ai

以上

* 記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。